



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 ヒロセ通商株式会社
 コード番号 7185 URL <https://hirose-fx.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野市 裕作
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 美濃出 真吾
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6534-0708

2021年6月28日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	8,732	3.8	2,912	3.7	2,855	3.9	1,938	7.0
2020年3月期	8,412	0.4	3,024	0.4	2,972	0.2	2,083	5.9

(注) 包括利益 2021年3月期 1,982百万円 (3.6%) 2020年3月期 2,057百万円 (4.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	営業収益営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2021年3月期	303.77	294.26	17.1	3.2	33.3
2020年3月期	324.94	312.81	21.6	3.8	36.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期	91,014	12,184	13.3	1,906.12
2020年3月期	87,581	10,624	12.1	1,647.27

(参考) 自己資本 2021年3月期 12,130百万円 2020年3月期 10,566百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	4,330	302	2,123	7,229
2020年3月期	1,851	1,183	4,212	5,281

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		31.00	31.00	198	9.5	2.1
2021年3月期		0.00		31.00	31.00	197	10.2	1.7
2022年3月期(予想)								

(注) 2022年3月期の配当予想額については、未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

当社グループは金融商品取引業(外国為替証拠金取引事業)を営んでおり、当社グループの業績は外国為替の為替変動率やマーケット環境に大きく影響を受け、予測を行うことが困難であるため、連結業績予想を開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼす営業収益、顧客口座数、外国為替取引高、顧客預り証拠金残高について、月次ベースで開示しております。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	6,594,000 株	2020年3月期	6,495,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	230,233 株	2020年3月期	80,186 株
期中平均株式数	2021年3月期	6,380,643 株	2020年3月期	6,410,501 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、「3. 2022年3月期の連結業績予想」に記載のとおり、連結業績予想の開示を行っていませんが、この点を補うために、月次ベースでの営業収益、顧客口座数、外国為替取引高、顧客預り証拠金残高を開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の拡大に伴い、社会経済活動が大きく制限された影響により、きわめて厳しい状況で推移しました。各種経済政策の効果などにより一部持ち直しの動きが見られたものの、感染の再拡大により収束の兆しは見え、国内経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした環境のもと、当社グループの関連する外国為替市場におきましては、期初には感染症の世界的流行や米中貿易摩擦の長期化により比較的ボラティリティが高い状況となりましたが、その影響は徐々に弱まり、7月以降は米国大統領選挙や感染症のワクチン普及への期待、中国の景気回復といった変動要因はあったものの、ボラティリティは緩やかに推移しました。

この様な状況の中、当社グループは、外出自粛やテレワークの拡大及び長期化によるPCやスマートフォンの利用機会の増加に伴い、FXの取引機会が増加することを見込み、人気通貨ペアのスプレッドの縮小や広告宣伝方法の見直しを行いました。また、タブレット端末での利用も活発になることを想定し、より快適な利用環境を提供すべく、iPad専用アプリのフルモデルチェンジやタブレット専用の取引ツール「LION Tab」のリリース等、タブレットに特化した取引ツールを強化しました。加えて、ボラティリティが低い状況でも取引を減少させないための取り組みとして、魅力的なキャンペーンを実施し、顧客の取引意欲が向上するよう努めました。

上記のような取り組みを行った結果、当社グループの口座数は538,509口座（前期比5.1%増）に達し、顧客預り証拠金は65,395,629千円（同6.8%増）となりました。また、年間の外国為替取引高は5兆4,587億通貨（同41.3%増）となりました。

その結果、当連結会計年度の営業収益は、8,732,963千円（前期比3.8%増）となりました。一方利益につきましては、新規顧客獲得のための積極的な広告宣伝活動による広告宣伝費や、取引高や営業収益に比例して増加するシステム使用料等の販売費及び一般管理費が増加したこと等から、営業利益は2,912,069千円（同3.7%減）、経常利益は2,855,664千円（同3.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,938,262千円（同7.0%減）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、外国為替証拠金取引事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の業績は記載しておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

イ 総資産

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3,432,817千円増加して、91,014,809千円となりました。これは主に外国為替取引顧客分別金信託の増加8,413,000千円、現金及び預金の増加1,691,319千円、外国為替取引自己取引差金（資産）の増加238,421千円等があった一方、外国為替取引顧客差金（資産）の減少5,400,255千円、外国為替取引差入証拠金の減少1,741,436千円、外国為替取引自己取引未収入金の減少45,428千円等により、流動資産が3,448,643千円増加したことによるものです。

ロ 負債

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比較して1,872,926千円増加して、78,830,733千円となりました。これは主に外国為替取引預り証拠金の増加4,161,107千円、外国為替取引顧客差金（負債）の増加1,095,341千円等があった一方、短期借入金の減少1,700,000千円、外国為替取引自己取引差金（負債）の減少986,363千円、外国為替取引顧客未払金の減少624,143千円等により流動負債が2,865,907千円増加したことによるものです。

ハ 純資産

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1,559,891千円増加して12,184,076千円となりました。これは主に利益剰余金が1,739,403千円増加した一方、自己株式の取得により295,154千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ1,948,523千円増加し7,229,873千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

イ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において営業活動により増加した資金は4,330,421千円(前連結会計年度は、1,851,903千円の支出)となりました。これは主に外国為替取引顧客差金(資産)の減少による収入5,400,255千円、外国為替取引預り証拠金の増加による収入4,161,107千円、税金等調整前当期純利益による収入2,851,985千円、外国為替取引差入証拠金の減少による収入1,741,436千円等があった一方、外国為替取引顧客分別金信託の増加による支出8,413,000千円、外国為替取引自己取引差金(負債)の減少による支出986,363千円、外国為替取引顧客未払金の減少による支出624,143千円等があったことによるものです。

ロ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において、投資活動により支出した資金は302,330千円(前連結会計年度は、1,183,896千円の支出)となりました。これは主に定期預金の預入による支出12,485,000千円、無形固定資産の取得による支出32,087千円、有形固定資産の取得による支出20,442千円があった一方、定期預金の払戻による収入12,235,000千円等があったことによるものです。

ハ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において、財務活動により支出した資金は2,123,298千円(前連結会計年度は、4,212,789千円の収入)となりました。これは主に短期借入金の純減額1,700,000千円、自己株式の取得による支出295,626千円、配当金の支払額198,859千円等があったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率 (%)	8.3	8.9	12.3	12.1	13.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	17.1	18.1	15.6	11.7	15.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	12.0	—	0.8	—	1.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	7.1	—	114.5	—	73.8

自己資本比率: 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ: キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1 キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

2 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

3 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

4 2018年3月期及び2020年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループは金融商品取引業（外国為替証拠金取引事業）を営んでおり、当社グループの業績は外国為替の為替変動率やマーケット環境に大きく影響を受け、予測を行うことが困難であるため、連結業績予想を開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼす営業収益、顧客口座数、外国為替取引高、顧客預り証拠金について、月次ベースで開示しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の重要な課題の一つとして認識しております。そのため、剰余金の配当等の決定に関しては、今後の事業展開及び経営体質強化のための内部留保資金とのバランスを総合的に勘案したうえで、業績に見合った利益還元を実施することを基本方針としております。

当社は、年1回の期末配当を基本的な方針としており、期末配当の決定機関は株主総会であります。また、当社は、取締役会の決議によって、毎年9月30日を基準日として会社法第454条第5項に規定する中間配当をすることができる旨を定款に定めております。

上記の方針に基づき、当期の剰余金の配当につきましては、1株当たり31.00円とさせていただきます。

また、来期以降の配当につきましても、今後の事業展開及び経営体質強化のための内部留保資金とのバランスを総合的に勘案したうえで、実績に見合った利益還元を実施する方針であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,693,551	13,384,871
外国為替取引顧客分別金信託	48,353,110	56,766,110
外国為替取引顧客差金	16,758,615	11,358,360
外国為替取引顧客未収入金	362,515	535,433
外国為替取引差入証拠金	9,604,931	7,863,495
外国為替取引自己取引差金	—	238,421
外国為替取引自己取引未収入金	119,727	74,299
貯蔵品	53,909	85,449
未収入金	46,594	39,698
未収還付消費税等	244,314	341,293
前払費用	34,823	34,257
その他	3,746	2,874
貸倒引当金	△6,960	△7,040
流動資産合計	87,268,881	90,717,524
固定資産		
有形固定資産		
建物	158,577	160,835
減価償却累計額	△61,475	△69,503
建物(純額)	97,102	91,332
車両運搬具	19,948	19,948
減価償却累計額	△17,491	△18,720
車両運搬具(純額)	2,457	1,228
器具備品	60,439	70,384
減価償却累計額	△50,882	△53,147
器具備品(純額)	9,557	17,236
有形固定資産合計	109,116	109,797
無形固定資産		
ソフトウェア	62,151	39,951
ソフトウェア仮勘定	—	3,824
その他	4,167	3,842
無形固定資産合計	66,318	47,618
投資その他の資産		
長期前払費用	145	49
繰延税金資産	98,329	98,463
差入保証金	29,867	29,113
その他	14,378	17,541
貸倒引当金	△5,045	△5,299
投資その他の資産合計	137,674	139,868
固定資産合計	313,110	297,284
資産合計	87,581,991	91,014,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
外国為替取引預り証拠金	61,234,521	65,395,629
外国為替取引顧客差金	263,468	1,358,809
外国為替取引顧客未払金	3,388,852	2,764,708
外国為替取引自己取引差金	1,016,450	30,087
外国為替取引自己取引未払金	210,876	180,539
短期借入金	7,700,000	6,000,000
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000,000
未払金	568,367	500,018
未払費用	47,385	47,988
未払法人税等	397,642	549,414
賞与引当金	72,087	64,194
その他	205,245	79,413
流動負債合計	75,104,897	77,970,804
固定負債		
長期借入金	1,000,000	—
長期未払金	779,254	779,254
退職給付に係る負債	53,441	59,945
資産除去債務	20,213	20,729
固定負債合計	1,852,909	859,928
負債合計	76,957,806	78,830,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	943,625	980,863
資本剰余金	504,935	542,173
利益剰余金	9,175,064	10,914,467
自己株式	△26,723	△321,878
株主資本合計	10,596,901	12,115,625
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△29,987	14,467
その他の包括利益累計額合計	△29,987	14,467
新株予約権	57,271	53,983
純資産合計	10,624,185	12,184,076
負債純資産合計	87,581,991	91,014,809

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収益		
外国為替取引損益	8,412,025	8,731,007
その他の営業収益	204	1,955
営業収益合計	8,412,230	8,732,963
営業費用		
販売費及び一般管理費	5,387,233	5,820,894
営業利益	3,024,996	2,912,069
営業外収益		
受取利息	1,317	952
為替差益	5,486	—
助成金収入	414	6,148
その他	631	518
営業外収益合計	7,849	7,619
営業外費用		
支払利息	59,869	59,373
支払手数料	—	471
為替差損	—	4,179
その他	200	—
営業外費用合計	60,069	64,024
経常利益	2,972,777	2,855,664
特別利益		
新株予約権戻入益	1,642	—
特別利益合計	1,642	—
特別損失		
固定資産除却損	25,370	3,679
特別損失合計	25,370	3,679
税金等調整前当期純利益	2,949,048	2,851,985
法人税、住民税及び事業税	870,500	913,857
法人税等調整額	△4,496	△134
法人税等合計	866,003	913,722
当期純利益	2,083,045	1,938,262
親会社株主に帰属する当期純利益	2,083,045	1,938,262

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	2,083,045	1,938,262
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△25,359	44,455
その他の包括利益合計	△25,359	44,455
包括利益	2,057,685	1,982,717
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,057,685	1,982,717

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括 利益累計額 為替換算 調整勘定	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	939,834	501,144	7,284,329	△26,657	8,698,650	△4,628	61,330	8,755,352
当期変動額								
新株の発行	3,791	3,791			7,582			7,582
剰余金の配当			△192,310		△192,310			△192,310
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,083,045		2,083,045			2,083,045
自己株式の取得				△65	△65			△65
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△25,359	△4,059	△29,418
当期変動額合計	3,791	3,791	1,890,734	△65	1,898,251	△25,359	△4,059	1,868,833
当期末残高	943,625	504,935	9,175,064	△26,723	10,596,901	△29,987	57,271	10,624,185

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括 利益累計額 為替換算 調整勘定	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	943,625	504,935	9,175,064	△26,723	10,596,901	△29,987	57,271	10,624,185
当期変動額								
新株の発行	37,237	37,237			74,475			74,475
剰余金の配当			△198,859		△198,859			△198,859
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,938,262		1,938,262			1,938,262
自己株式の取得				△295,154	△295,154			△295,154
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						44,455	△3,288	41,167
当期変動額合計	37,237	37,237	1,739,403	△295,154	1,518,723	44,455	△3,288	1,559,891
当期末残高	980,863	542,173	10,914,467	△321,878	12,115,625	14,467	53,983	12,184,076

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,949,048	2,851,985
減価償却費	79,090	60,428
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,942	334
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,020	△7,892
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,933	6,503
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,159,900	—
長期未払金の増減額 (△は減少)	779,254	—
受取利息及び受取配当金	△1,317	△952
支払利息	59,869	59,373
為替差損益 (△は益)	△6,744	724
固定資産除却損	25,370	3,679
新株予約権戻入益	△1,642	—
外国為替取引顧客分別金信託の増減額 (△は増加)	△2,092,110	△8,413,000
外国為替取引顧客差金 (資産) の増減額 (△は増加)	△8,738,590	5,400,255
外国為替取引顧客未収入金の増減額 (△は増加)	102,022	△172,917
外国為替取引差入証拠金の増減額 (△は増加)	△4,376,576	1,741,436
外国為替取引自己取引差金 (資産) の増減額 (△は増加)	479,323	△238,421
外国為替取引自己取引未収入金の増減額 (△は増加)	489,042	45,428
貯蔵品の増減額 (△は増加)	5,833	△31,539
未収入金の増減額 (△は増加)	4,466	6,516
未収還付消費税等の増減額 (△は増加)	△24,937	△96,978
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,187	△37
外国為替取引預り証拠金の増減額 (△は減少)	9,404,734	4,161,107
外国為替取引顧客差金 (負債) の増減額 (△は減少)	△120,110	1,095,341
外国為替取引顧客未払金の増減額 (△は減少)	618,088	△624,143
外国為替取引自己取引差金 (負債) の増減額 (△は減少)	1,016,450	△986,363
外国為替取引自己取引未払金の増減額 (△は減少)	210,876	△30,337
未払金の増減額 (△は減少)	83,809	△61,948
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,484	477
その他	△515,703	379,782
小計	△712,127	5,148,842
利息及び配当金の受取額	1,251	1,104
利息の支払額	△62,035	△58,645
法人税等の支払額	△1,078,992	△760,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,851,903	4,330,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,460,000	△12,485,000
定期預金の払戻による収入	6,340,000	12,235,000
有形固定資産の取得による支出	△9,883	△20,442
無形固定資産の取得による支出	△53,779	△32,087
長期前払費用の取得による支出	△126	—
その他	△106	199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,183,896	△302,330
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,900,000	△1,700,000
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△500,000	—
株式の発行による収入	5,166	71,187
自己株式の取得による支出	△65	△295,626
配当金の支払額	△192,310	△198,859
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,212,789	△2,123,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,614	43,730
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,158,374	1,948,523
現金及び現金同等物の期首残高	4,122,974	5,281,349
現金及び現金同等物の期末残高	5,281,349	7,229,873

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループの主要な事業である外国為替証拠金取引事業は、すべての取引がインターネットを通じたオンラインによるものであるため、新型コロナウイルス感染症対策の外出自粛等による事業への影響については限定的であります。

そのため、新型コロナウイルス感染症による当社グループの業績に与える影響は軽微、もしくはマイナスの影響は生じないものと仮定し、会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多いことから、将来の連結財務諸表に影響を及ぼす可能性があり、今後の動向を引き続き注視しております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、前連結会計年度から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループの事業セグメントは、外国為替証拠金取引事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループの事業セグメントは、外国為替証拠金取引事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,647円27銭	1,906円12銭
1株当たり当期純利益金額	324円94銭	303円77銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	312円81銭	294円26銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,083,045	1,938,262
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	2,083,045	1,938,262
普通株式の期中平均株式数(株)	6,410,501	6,380,643
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	248,574	206,256
(うち新株予約権に係る増加数)	248,574	206,256
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。